

HIV／エイズと子どもたち

ユニセフは2005年より他の国際機関や協力団体とともに“Unite for Children, Unite against AIDS — 子どもたちのためにエイズと闘おう — ”を合言葉に「子どもとエイズ」世界キャンペーンを展開しています。HIV／エイズとその影響を受ける子どもたちのための活動は、ユニセフの中核事業として継続して行われています。長い間、国際社会における HIV／エイズ対策では子どもたちは取り残され、彼らのニーズは見過ごされてきました。しかし、子どもたちこそがエイズの蔓延を食い止めるための希望の光なのです。

HIV／エイズに関する基礎データ

1. 世界および地域での推定値

2006年:

- HIVに感染している人:推定 3,950 万人
- HIVに感染している 15 歳未満の子ども:230 万人
- 新たに HIVに感染した人:推定 430 万人
- 新たに HIVに感染した 15 歳未満の子ども:推定 53 万人
- エイズに関連する何らかの原因によって死亡した人:推定 290 万人
- エイズに関連する何らかの原因によって死亡した 15 歳未満の子ども:推定 38 万人
- 15 歳未満の子どもと 15 歳から 24 歳までの若者が HIV の新規感染者の半数を占めている

HIV とともに生きる 15 歳未満の子どもたちの地域別推定値 【国連エイズ計画(UNAIDS)調べ】:

- サハラ以南のアフリカ:200 万人
- 南アジア・南東アジア:17 万人
- 東アジア:6,400 人
- オセアニア(オーストラリア、フィジー、ニュージーランド、パプアニューギニア):3,000 人
- ラテンアメリカ:32,000 人
- カリブ海諸国:22,000 人
- 北アフリカ・中東:31,000 人
- 東欧・中央アジア:6,900 人
- 西欧・中欧:4,000 人
- 北米:11,000 人

2. 4つのP

① HIV 母子感染の予防 (PMTCT)

- 世界では、毎日およそ 1,500 人の子どもたちが HIVに感染しており、その大半は母子感染が原因である
- 2005 年、低・中所得国において、HIV に感染している妊婦のうち、母子感染を予防するための ARV 治療を受けているのは 11%のみ(2003 年は 3%)
- HIV／エイズの知識が浸透している高所得国では母子感染率が約 2%にまで急速に減少

② HIV に感染した子どもの治療

- 治療を必要とする子どものうち、抗レトロウィルス治療を受けられたのは 10 人にひとり—その他の子どもたちは、短く、限られた将来を生きるのみ

- 2005年、HIVとともに生きる15歳未満の子ども230万人のうち、抗レトロウイルス治療を必要とするのは推定78万人
- HIVの危機にさらされている、もしくはすでに感染している推定400万人の子どもに対し、比較的安価で入手しやすい抗生物質「コトリモクサゾール」の投与が必要。コトリモクサゾールはHIVに感染した母親から生まれてくる子どもへのHIVの母子感染を予防し、さらにエイズの発症を抑える。またARV治療の必要時期を遅らせる
- 治療が受けられなければ、HIVに感染した子どものうち推定3分の1が1歳の誕生日までに、2分の1(50%)が2歳の誕生日を迎えるまでに命を落とす。

③ 青少年のHIV感染を予防する

- 15歳から24歳までの若者のうち、推定1,000万人以上がHIVに感染している
- HIV有病率は、サハラ以南のアフリカがもっとも高く、若い男性より若い女性のほうが高い
- サハラ以南のアフリカで、ウイルス感染から自分たちの身を守るために必要な、HIV/エイズに関する正確な知識を持っている人は、3人にひとりの割合よりも少ない

④ 過酷な状況にある子どもたちの保護

- 18歳未満の子どものうちエイズによって親や家族を失った子どもは1,520万人。うち、1,200万人がサハラ以南のアフリカで暮らしている
- 2010年までに、エイズによって孤児になる子どもは推定2,000万人以上
- 2006年、NGOの活動に関する統計によると、サハラ以南の28カ国では、330万人から500万人の孤児や困難な立場に置かれている子どもが、教育、保健ケア、食糧、経済的および心理社会的サポートなど、何らかの支援を受けている